

2018WT S横浜大会エイジバイクパート運営マニュアル

2018. 5. 10

TO:松村一彦

【はじめに】

一昨年、落としたボトルを拾うためコース上で停車し後ろに向きを変えた選手に後続車が突っ込み、当該選手は後頭部を強打し救急車で搬送される事態となった。大事には至らなかったことが幸いである。危険防止のため競技中は停車しないことを今年も徹底したい。

- ① 落し物をした時はその場で拾わず、競技終了後インフォメーションテントで受け取ること。
 - ② 体調不良等でやむを得ず停車する際は、後方確認、手信号、声掛けで周知し左端に寄って停車すること。
- 審判員は安全を確保するため危険行為、違反行為の注意・制止させるため声を出してジェスチャーを交え選手に積極的に呼びかけ事故ゼロを目指す。

【審判員としての心得】

- (1)審判員の活動は公正・公平・安全に競技を行うという選手の基本的な権利を守ることであること。
- (2)審判員は選手が安心して競技できる環境を確保し、選手を保護しトライアスロンの価値を保全するという重要な役割を担っていること。
- (3)審判員は、選手及び観客から、常に見られていることを意識すること。
 - ◎ 落ち着いて行動する。
 - ◎ 選手、観客への言葉遣いは丁寧に。「ご協力お願いします。ご理解下さい」の精神で。
 - ◎ 整理員、警備員と意思の疎通を図る。
 - ◎ レース開始時間、周回数、トイレの場所、バイクピックアップの時間等、質問される。しっかり答えられるように準備する。
 - ◎ 持ち場で起こり得ること(選手が落車した場合、コースミスをした場合等)を事前にシミュレーションしておく。
 - ◎ 持ち場を離れる時は、近くの審判員に必ず伝える。

【事故が起きた時の対応】

- (1)後続選手が事故に巻き込まれないよう誘導する。
- (2)当該選手及びバイクをコース端に誘導する。
- (3)競技続行が可能かどうか判断する。(選手の意味が優先されるが、怪我の度合い等で審判員が続行不能と判断する場合もある。)
- (4)怪我の重軽度によって、以下の対応をとる。
 - ◎ 救護テント場所へ案内する→山下埠頭内・本牧埠頭内(事前に場所を確認のこと)
 - ◎ 救急救命士に声をかける(ボランティアに呼んでもらう)
救急救命士はAEDなどを所持し、マウンテンバイクや徒歩によりコース沿道で待機している。
 - ◎ 重度で救急車の要請が必要な場合は緊急度に応じ、①すぐに119番、②無線や携帯で統括チームに状況を報告し指示を仰ぐ。(怪我の報告をする際は、①レースナンバー②氏名③症状の詳細④事故の場所を伝える。
119番へは①氏名②年令③症状の詳細④事故の場所は必須)

【ドラフティング・キープレフトの対応】

- ◎ ドラフティングか否かの判断でチェックすべきことは、
「追い抜く意思を持って前に進んでいるかどうか」「故意に並走していないかどうか」
- ◎ ブロッキングか否かは、
「追い抜いたあともスピードを維持し、追い抜き完了後、キープレフトしたか」
- ◎ 追い抜く時以外はキープレフトを維持しなければならない。左側追い抜きを発見した場合、(もちろん左側追い抜きは禁止だが)追い抜いた選手と同時に、これを誘発した「センター寄り走行の選手」にも注意を与える。(安全走行違反の注意)
いずれも、選手をしっかり観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。

1. 審判員体制

別紙1参照

2. スタッフの役割

1) チーフ、サブチーフ

- ① 競技運営マニュアルの作成
- ② 人員・機材の手配依頼
- ③ 審判員への競技運営事項指示伝達

2) エリアチーフ

- ① 各エリアで必要な備品を準備し、各エリアへ持ち込むこと。また競技終了後持ち帰ること
- ② 各エリアのマーシャル出欠状況を把握し、チーフへ報告すること。

3) 担当 TO

- ① 選手誘導・安全確保
- ② レースナンバー表示の確認
- ③ 前ファスナーの確認(レース中は前ファスナーを上げるよう指導する)
- ④ 一般客誘導・安全確保・大会スケジュール説明
- ⑤ コース設営修正(業者が設営したものを競技観点で修正)
- ⑥ 警察官、警備員、整理員、ボランティア等スタッフとの意思疎通を行う。

- ◎ 警察官→信号操作
- ◎ 警備員→一般車両の交通誘導
- ◎ ボランティア(スポーツ推進委員)→沿道警備、観客誘導、案内
- ◎ 整理員→交差点などの通行人、観客の誘導

ポイントに観客等の横断路がある場合には、観客や車両を横断させるかどうかの判断等は審判員が行う。横断開始/中断の連携方法を決めておくこと。

ホイッスルの使用は緊急時のみとし、旗を使用する。
(近隣住民からの苦情が多数寄せられている。)

3. 当日タイムスケジュール

- 5:30 / 集合(山下公園内競技団体テント横入口)
- 5:35 / 各パート別打合せ・備品の確認・配置
- 7:00 / 交通規制開始。公道部分のコース設営
山下ふ頭内は各パート配置後ただちに設営開始
- 7:15 / 競技開始(ノバラ、スタンダード(男子、女子)、リレー、スプリント(男子、女子)
エイジラップタイムシミュレーション(別紙4参照)
- 12:25 / 山下ふ頭周回カットオフ
- 13:00 / 交通規制解除

4. 距離・コース（別紙2参照）

◎ 距離

スタンダード:6. 6km×6周(40km)

スプリント:6. 6km×3周(20km)

◎ コース

山下公園⇒山下埠頭⇒山下公園

周回数は選手が把握。周回数を聞かれたら、「〇周回したらフィニッシュ」と答える。

5. ペナルティ

適用ルールは以下を参照のこと。

www.jtu.or.jp/marshal/pdf/ITU%20sport%20competition%20rules%202018_JTU.pdf、

(バイクパートP54～、ドラフティング関連 P69～)

ドラフティング禁止。ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方10m。

並走の場合もドラフティングとなる。

ドラフティングを注意する場合にはストップさせず、ホイッスル⇒ナンバーコール →

(イエローカード)ペナルティ宣告 → ペナルティボックス。

定点審判員は該当選手に注意を促し、それでも駄目なら無線あるいは携帯で統括チーフ松村に
時間、場所、レースナンバーを連絡すること。→ 総括チーフ松村より本部に連絡。

ペナルティ宣告は審判長権限とする。

6. リタイア時の対応

- ① 審判員は、リタイアの意思、レースナンバーと氏名を確認し、選手がはずしたアンクルバンドを回収する。
- ② 審判員はエリアチーフに口頭で報告し、アンクルバンドを渡す。
- ③ エリアチーフは統括チーフに無線で報告する。アンクルバンドはレース終了後、本部に届ける。
- ④ チーフは「リタイア選手リスト」を作成し、レース終了後審判長に提出する。

7. 交通規制

交通規制／7:00～13:00

12:45から公道エリアの撤収となる。このため、12:25以降は新規に周回コースに入れない。最後尾にはバイク移動チーフを配置し管理する。

8. 車両の出庫

事前に箇所を把握し、付近の審判員は通過する選手に注意を促し、安全・迅速に車両の誘導を行うこと。

(昨年は、山下ふ頭より「やまたね」「あべ商会」の2台は申請あり。(関連:B19,C7)) → 当日確認

9. 緊急対応

- ・接触事故や落車、メカトラ(パンクなど)があった場合はすぐに現場へ急行する。
- ・最初に後続車に2次災害が発生しないように誘導し、その間、ケガの有無、重軽度を確認。
救護テント場所は事前に確認しておく。(山下埠頭内・本牧埠頭内)
- ・救急救命士がAEDなどを所持し、マウンテンバイクや徒歩によりコース沿道で待機している。
- ・事故発生時、当事者の保護と後続選手を含めた競技の安全確保を最優先に行い、その後直ちに事故発生地点、時刻、選手の状態とレースナンバーを確認して大会本部に無線連絡する。
ただし選手の意識がない場合、骨折あるいは多量の出血が認められる場合は直接119番に連絡し救急車を呼ぶこと。その後、無線や携帯にて統括チーフへ連絡し、指示を仰ぐこと。

10. 雨天時対応

※危険エリア

B2周回地点・C1折返し・C6急カーブ・C7下りコーナー・C7急カーブ・C16急カーブ・
C18折り返し・B10左折コーナー。

※落車多発地点エリアは、メガトラ、ホイッスル、「減速」注意コールとコース幅減少を行い、スリップ落車を防止し安全走行につなげる。(スポーツ推進委員へ協力要請)

11. 各エリアでの注意事項(各ポイントの位置は別紙3参照)

1) 山下公園前での対応(C1～C7)

備品: ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ、竹ぼうき2、赤白旗1、道路補修用テープ

C1: パラ(TR1)選手のランフィニッシュや緊急時の医療スタッフを乗せたモーターバイク出入り口として鉄柵の開閉移動があるため、移動する柵へはバナー設置やタイラップ止めは実施しないように設備担当と調整する。
折返し地点を選手にわかりやすく案内するために、手前に案内板を設置する。審判員は「スローダウン」「折返し」のアナウンスを行う。

C5: 人形の家駐車場前のガードを確認(去年は後からプラ柵設置)

C2～C7: C1では折返しゆえバイクが詰まりがち。観客の応援も多く、選手はがんばるが無理な追い越しは危険なので、「スローダウン」「折返し」アナウンスを徹底する。

※ 道路が陥没している箇所がある場合には、土とテープで補修する(去年はC7付近)

2) 山下埠頭内分岐地点の対応(B1～B25)

**備品: ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ2、竹ぼうき4、赤白旗1、道路補修用テープ
分岐点(周回・フィニッシュ)大看板は設営担当が設置済**

B2: 周回/フィニッシュ分岐

分岐地点を選手にわかりやすく案内するために、手前50m地点と分岐点の2ヶ所に大型案内板を設置する。審判員は「周回」「フィニッシュ」のアナウンスを行う。

去年は、分岐を誤って、コースを戻ろうとして際に後続と衝突する事故があった。分岐誤りの際の復帰導線を明確にしておく。

12:45から公道エリアの撤収となる。このため、12:25以降は新規に周回コースに入れずカットオフ(DNF)を実施する。(周回が残っている選手にはDNFを宣言し、アンクルバンドを回収してトランジションへ案内する)

B9・B10: 急カーブなので「スローダウン」アナウンス

※ 道路が陥没している箇所がある場合には、土とテープで補修する



B2: 周回/フィニッシュ分岐ポイント(昨年)

→ コーンバーや矢印があれば遠目からでもわかりやすい



B2: パラ用にコーンを倒して低い車体でもコーナや進行方向がわかるように(昨年)
 → 矢印看板、コーンバーがあれば利用する

3. 新山下方面の対応(C8～C9)

備品: ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ、竹ぼうき 4、道路補修用テープ、赤白旗1、草刈用具(あれば)

C9: 高架で狭いため、審判員の配置や落下物の対応に注意

C14: イベント会場、商業施設は開店しており横断を要求される場合がある。

センターライン付近に待機エリアを準備し、安全を確認しながら片車線ずつ横断させる。

人数が足りない場合は、ボランティア、エリアチーフ に声をかけ、安全かつ速やかに実施する。

C16: 復路カーブがふくらまないように鉄柵の配置を注意

強風の場合、鉄柵が倒れる可能性があるので、横断幕にスリットを入れる

往復ともカーブに突っ込んでくるのでSLOWDOWNをアナウンス

昨年はコーナーに草が生えていたため、除去

C17: 右折後折り返しであることをアナウンス

C18: 折返しポイント設営にあたっては、遠目からでも折返しであることが明確になるように。

折返しポイントのポストコーン(中央分離用)撤去箇所には置かれたカラーコーンは、

大会中は移動して安全確保に活用する。

大会終了後に一般車両が不正に該当箇所においてUターンをしないために元の位置に戻すこと。

エイジパラの選手が折返し箇所ですまっただ場合、サポートを実施する。



C16 (横断幕があると反対者車線が見にくい、落車時のガードになる)(昨年)



C18 パラレース中 折り返し ポイント（カラーコーンの矢印 または、コーンを進行方向に倒す）
（昨年）。下記補強前。



C18 折返しポイント スタンダードレース中は 奥行が意識できるようにスポンサーバナーを張り付けた(昨年)

14. 移動バイクの対応

(1) エリートバイクのオートバイ運転手ガイド「Moto Drivers Guide」を参考にすること。

(2) エイジパラ での対応

・エイジバイク並走時の安全確保のため、及び C1 地点で山下公園内へ入る際の鉄柵の移動のコントロールを行うために、TRI-1(競技用車椅子のラン)の選手の追走を行う。

→ 2018年は7名(モーターバイク3台(先頭・2番目・最後尾)、ステルスバイク2台で5名をバイク担当がフォロー。残り2名はラン担当がフォロー)

(鉄柵の移動はパラ担当(志賀)とエリアチーフ(鶴見)、審判員及び現場スタッフが実施する。)

・TRI-1 選手が、ランコース誘導地点(ホテルニューグランド前)に接近していることを、レースナンバーと共に無線でパラ担当(志賀)まで伝える。

(3) 最終(バイクコースクリア)対応

・最終の判断はモーターバイクの前後に終了(THE END)の表示を掲示して走行する。

交通規制解除直前に、モーターバイクによる、選手追い上げをする際、追い上げを担当する TO は、「最後尾」のマークを表示する。また、追い上げでない場合は、その TO がコース上を走行する場合には、「最後尾」のマークの表示はしないこと。(コース上にいるボランティアや設営スタッフが、競技中にも関わらず「最後尾」の表示をみて、コース撤収を開始してしまう懸念があるため)

15. 撤収時

最終競技者通過後、最後尾のバイク移動チームの合図にて撤収作業を実施する。
ボランティア、警備員へも最終競技者通過を案内し、労いの声掛けを実施のこと。
また、撤収は警察官およびエリアチーフへの確認後に実施すること。
なお、備品としてエリアへ持ち込んだ備品類は忘れずに本部へ持ち帰ること。

16. トイレの場所（別紙5参照）

山下埠頭内→B9・B13・B19・B22

新山下方面→C14・C18・C14～C15の道路反対側のホームセンター内

17. メカニックステーション

昨年までは、レース中も、山下埠頭内エイドステーション横に、シマノメカニックを配置したが、今年はなし。

18. エイドステーション

山下埠頭内に1ヶ所。エイドステーション前スペースにて一時停止(ピットイン)する。

19. その他の備品

色違いコーン 青、黄 各10

20. 当日確認事項(本部に確認)

- ・コース内で留まっている車両はないか？
- ・大会運営中、車両移動はないか？
- ・イベントの実施連絡はないか？

【別紙 1】

バイクパートスタッフ一覧(エリア別) (赤字は前年と同じ担当)

【チーフ 松村 一彦(マツムラ カズヒコ)090-4202-2505】 無線

【サブチーフ 宮城 信隆(ミヤギ ノブタカ)】 無線

山下ふ頭内7名 エリアチーフ: 浅海 聡(アサカイ サトシ) 無線、トラメガ、竹ぼうき 2、ガムテープ、赤白旗 1

ポイントNo	氏名	性別	フリガナ	所属	備品
B2	内藤 義之	男	ナイトウ ヨシユキ	福岡県	無線
B2	中元 靖貴	男	ナカモト ヤスタカ	宮城県	分岐看板大小(設置済) 矢印 6、SLOW/DOWN 2 組、 コーン連結用テープ
B2	鷺塚 浩二	男	ワシヅカ コウジ	東京都	
B3	久野 晴彦	男	クノ ハルヒコ	千葉県	
B5	青木 博幸	男	アオキ ヒロユキ	埼玉県	
B25	佐藤 美佳子	女	サトウ ミカコ	千葉県	

山下ふ頭内12名 エリアチーフ: 鈴木陽輔(スズキ ヨウスケ) 無線、トラメガ、竹ぼうき 2、ガムテープ、赤白旗 1

ポイントNo	氏名	性別	フリガナ	所属	備品
B7	田島 智恵子	女	タジマ チエコ	千葉県	
B9	浦邊 憲之	男	ウラベ ノリユキ	千葉県	右カーブ矢印(往)
B10	小西 輝佳	男	コニシ テルヨシ	神奈川県	左カーブ矢印(復)
B10	垣内 基	男	カキウチ モトツグ	千葉県	
B12	森本 逸志	男	モリモト イツシ	東京都	
B13	水越 照夫	男	ミズコシ テルオ	神奈川県	
B15	稲葉 哲夫	男	イナバ テツオ	千葉県	
B16	小室 博之	男	コムロ ヒロユキ	千葉県	
B19	前田 隆司	男	マエダ タカシ	東京都	
B22	岩佐 直樹	男	イワサ ナオキ	東京都	
B24	木南 繁	男	キナミ シゲル	千葉県	

山下公園前通り7名 エリアチーフ: 鶴見耕市(ツルミ コウイチ) 無線、トラメガ、竹ぼうき 2、ガムテープ、赤白旗 1

ポイントNo	氏名	性別	フリガナ	所属	備品
C1	薬袋 充生	男	ミナイ ミツオ	大阪府	折返し大小、矢印 5、 SLOW/DOWN 2 組
C2	浅野 喜美子	女	アサノ キミコ	鹿児島県	
C4	田代 実美	男	タシロ サネヨシ	鹿児島県	
C6	水野 真之	男	ミズノ マサユキ	東京都	SLOW/DOWN 2 組
C7	戸田 賢治	男	トダ ケンジ	石川県	左カーブ矢印(往)
C7	中山 偉久	男	ナカヤマ タケヒサ	石川県	無線

新山下方面8名 エリアチーフ: 小林和矢(コバヤシ カズヤ) 無線、トラメガ、竹ぼうき 4、ガムテープ、赤白旗 1

ポイントNo	氏名	性別	フリガナ	所属	備考
C9	山本 孝児	男	ヤマモト コウジ	徳島県	
C14	松村 和弥	男	マツムラ カズヤ	東京都	

C14	中原 宏	男	ナカハラ ヒロシ	千葉県	
C16	瀬川 寛	男	セガワ ヒロシ	愛知県	SLOW/DOWN 2組
C17	竹花 伸一	男	タケハナ シンイチ	富山県	無線
C17	柳 志延	女	ヤナギ シノブ	神奈川県	SLOW/DOWN 2組 右折後/折返し
C18	浅利 峰欣	男	アサリ ミネヨシ	東京都	折返し大小、矢印5、 SLOW/DOWN 2組
C18	古畑 裕之	男	フルハタ ヒロユキ	東京都	コーン連結用テープ

モーターバイク移動6名 無線2台

	氏名	性別	フリガナ	所属	備考
チーフ	西廣 晴光	男	ニシヒロ ハルミツ	千葉県	パラ TRI1 ラン追跡 3台
	福渡 純	男	フクワタリジュン	東京都	
	大村 真人	男	オオムラ マサト	東京都	
	伴 伸夫	男	バン ノブオ	栃木県	
	今 雅利	男	コン マサトシ	埼玉県	
	野間 秀樹	男	ノマ ヒデキ	神奈川県	

ステルスバイク2名 無線1台

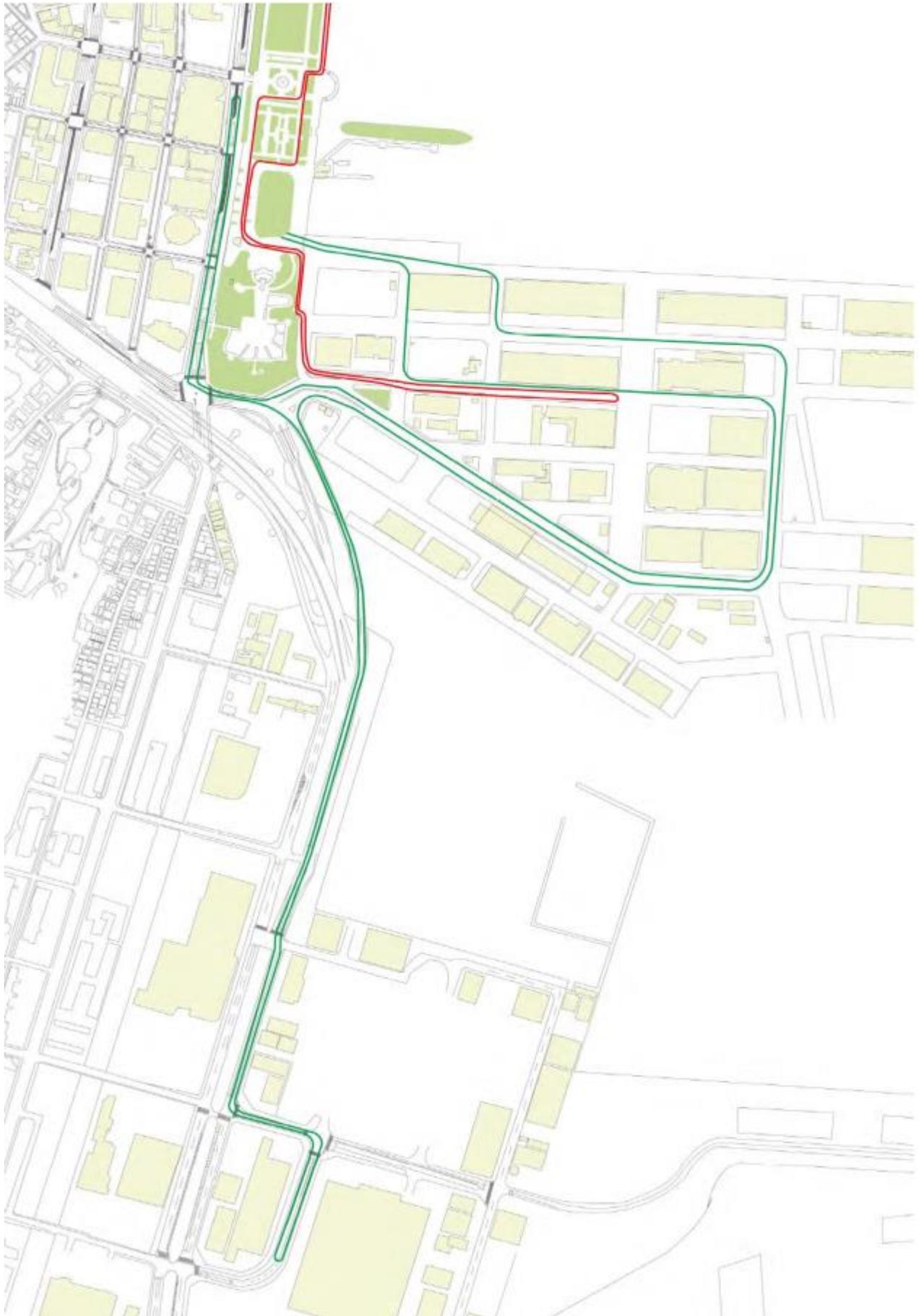
	氏名	性別	フリガナ	所属	備考
	吉川 成光	男	キッカワ シゲミツ	神奈川県	パラ TRI1 ラン追跡 2台
	糊澤 誠	男	クルミサワ マコト	神奈川県	

※無線11台

※備品については、予定どおり準備されない可能性があるため、臨機応変に対応をお願いします。

【別紙2】

バイクコース図（緑）



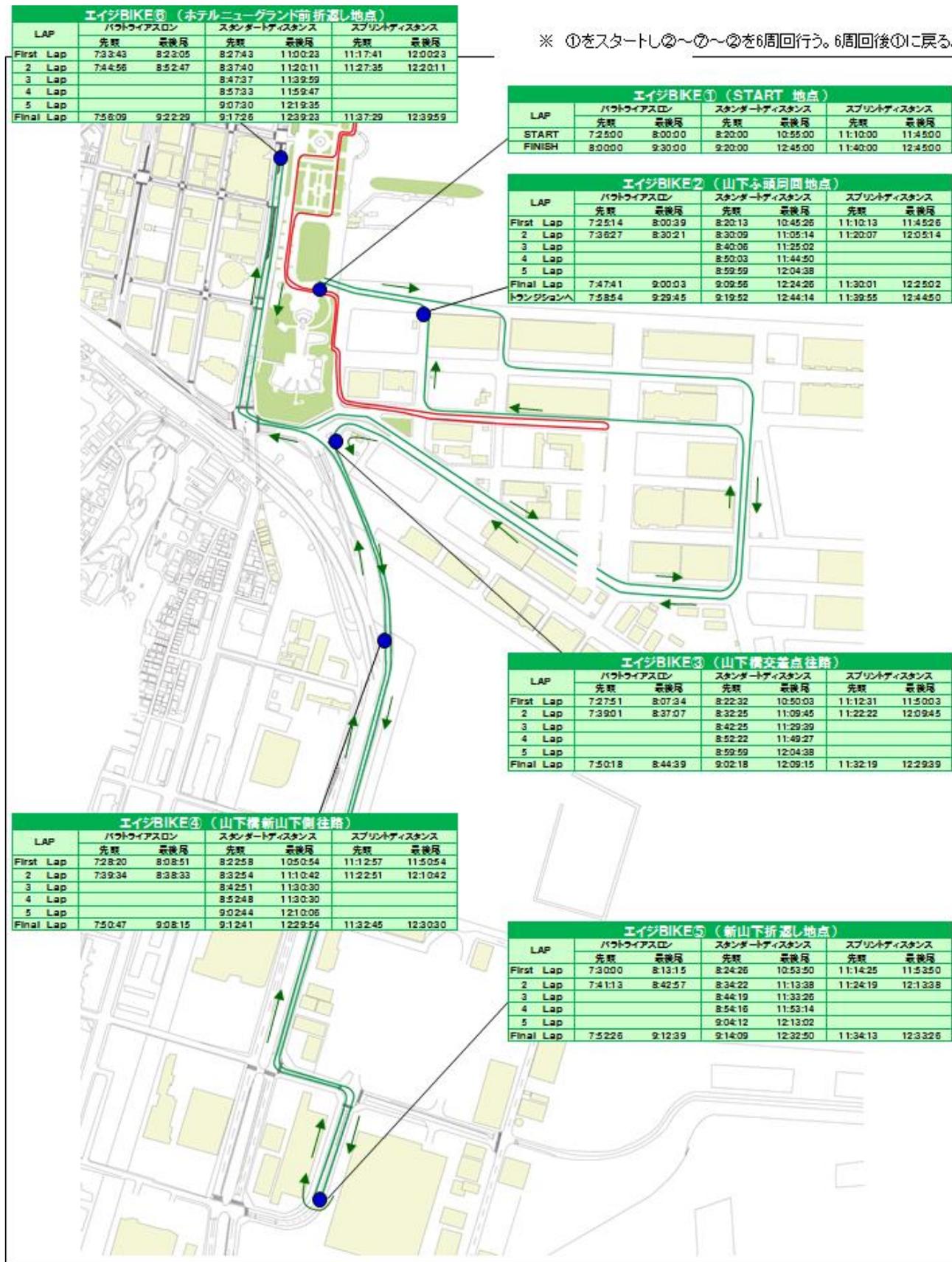
【別紙3】

チェックポイント



【別紙4】

バイクコースラップタイム



【別紙5】

バイクコーストイレ設置場所

